

小学校

開催日 1月25日  
 参加者 児童 21名  
 「どんな町、地域、学校に  
 なればよいと思うか」

議会では、町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聞く機会の場合として、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しています。  
 町内の小学校、中学校の児童生徒の皆さんから提案をいただき、意見交換を行いましたので、その内容をお知らせします。



**葛巻小学校**  
 誰もが笑顔になれる  
 活気のある町に

イベントだけでなく、毎日  
 が楽しい活気ある町にしたいです。  
 ▼どのようにすればよいか  
 ①オリジナルグッズの販売で、旅行で町に来た人や子供連れの人に「また来たい」と思ってもらえると思います。  
 ②観光マップを作ることで、観光客により楽しい葛巻町の思い出を作ってもらえると思います。  
 ③くずまき定住促進住宅の入居条件を見直すことで住む人が増えると思います。

▼どのように変わるか  
 人口減少の要因となる出生率低下や若者の流出を軽減し、そして移住者の増加だけでなく、地域に住む子どもから大人まで、誰もが楽しく明るい生活が送れるようになると思います。

④空き家をカフェに使用し、仲間ができるカフェやペット同伴であれば、幅広い年代の人が利用して、大切な人と楽しい時間が過ごせると思います。  
 ⑤町に無い遊具を設置した公園を作ることで、子どもたちや、子ども連れの人などが、楽しむことができると思います。  
 ▼どのように変わるか  
 人口減少の要因となる出生率低下や若者の流出を軽減し、そして移住者の増加だけでなく、地域に住む子どもから大人まで、誰もが楽しく明るい生活が送れるようになると思います。



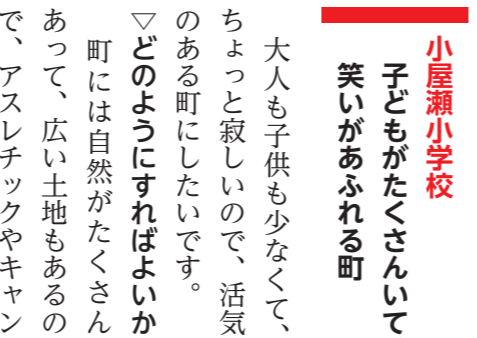
**江刈小学校**  
 野球・CM・  
 ミルンちゃんグッズで  
 町を盛り上げたい

江刈小学校の5、6年生の10人は、三つの提案を発表しました。  
 一つ目は「野球で葛巻町を盛り上げたい」。  
 少年野球チーム「五日市メッツ」を紹介するポスターを作り、少年野球に興味を持ってもらい、野球をする人と応援する人達の輪で、葛巻町を盛り上げたいという提案でした。



**小屋瀬小学校**  
 子どもがたくさんいて、  
 笑いあふれる町

大人も子供も少なくなくて、ちょっと寂しいので、活気のある町にしたいです。  
 ▼どのようにすればよいか  
 町には自然がたくさんあって、広い土地もあるので、アスレチックやキャンプができる公園を作ってはどうでしょうか。  
 今はSNSなどで情報発信しやすいので、遊べる施設があれば、子ども連れの家族などが遊びに来てくれると思います。



二つ目は、「CMで葛巻町を知ってもらいたい」です。  
 町の様々なイベントや、観光地のCMを作り、葛巻町の魅力を町内外に発信するという提案。  
 三つ目は「ミルンちゃんグッズで葛巻町を盛り上げたい」です。  
 葛巻町のマスコットキャラクターである「ミルンちゃん」のグッズを作り、道の駅やグリーンセンターなどで販売します。  
 グッズに興味を持った人が、「ミルンちゃん」といえば葛巻町というイメージを持ってもらえるという提案でした。



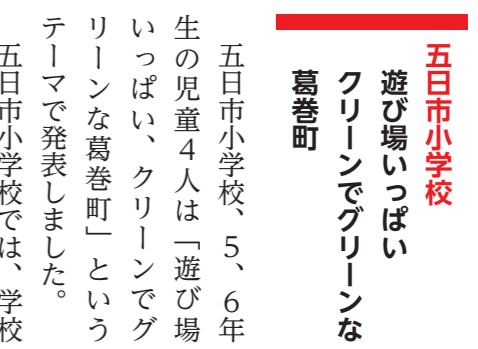
五日市小学校、5、6年生の児童4人は「遊び場いっぱい、クリーンでグリーンなテーマで発表しました」。

▼どのように変わるか  
 公園を利用しようとたくさんの人達が町へ来てくれるから、行き帰りに町のお店にも寄るだろうと思います。  
 葛巻に来てもらえれば、特産品など葛巻のほのほの良さも分ってもらえて、もっと多くの人に葛巻の魅力を知らせることができると思います。それによって、町に今よりも活気が出てくれるかなと思います。

作るだけでなく、きちんと管理をすることで、さらに良い評判が広まって、人気の公園になれると思います。  
 ▼どのように変わるか  
 公園を利用しようとたくさんの人達が町へ来てくれるから、行き帰りに町のお店にも寄るだろうと思います。  
 葛巻に来てもらえれば、特産品など葛巻のほのほの良さも分ってもらえて、もっと多くの人に葛巻の魅力を知らせることができると思います。それによって、町に今よりも活気が出てくれるかなと思います。



そこで、グリーンテーマにあるような木材を使った遊具の提案もあり、これからの町産材の活用へのヒントも提示してくれました。  
 葛巻町の豊かな自然を活用した遊び場(公園)の提案では、森林や川も利用して遊び場としての機能だけでなく、休憩所としても利用できる「憩いの場」になれば、子供だけでなくお年寄りでも利用できる遊び場(公園)になります。  
 五日市小学校では、世界的に取り組んでいる、SDGsの考えを取り入れた提案だったと思います。



小学生ふるさと懇談会で議長を務めてくださった児童の皆さん



中学校

開催日 1月23日  
参加者 中学生 14名  
「どんな町、地域、学校になればよいと思うか」



葛巻中学校  
クップでつながる  
地域づくり

葛巻町では、林業が盛んであり、町の木を使った取り組みを何かできないか考えた。  
町産材を使った新庁舎もできましたが、町中には空き家も多く、改装した空き家でクップを楽しめることで、空き家の活用にもつながると思う。  
まずは、クップを町民に広く知ってもらい、社会体育館や空き地、改装した空き家などで行う。



町内にクップを普及させることでクップの全国大会などの誘致も視野に入れていく。  
クップは子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツで、高齢化・少子化が進む中、冬の間でも出来るスポーツとして、空き家を改装することで町民の憩いの場になることができ、町民の運動不足の解消にもつなげることができる。少子高齢化しているも、明るく楽しく感じる町となり町外の人たちとも仲良くなること

江刈中学校  
注目される冬の  
イベント企画を

町外からも注目されている冬季のイベントを企画することで、多くの人々に町に来てもらい、葛巻の良さを知ってもらいたい。  
ひとつには町の寒さを利用した氷のトンネルをつくりライトアップしたらどうか。また、冬に作っている雪像にイルミネーションをすれば効果的ではないか。  
このような楽しい企画をすることにより町外からの



移住者や人口増も期待でき、町外の人たちからの興味も持ってもらえることが出来る。  
新庁舎のリーススペースを活用し、誰でも気軽に立ち寄れる様々なイベントを企画したりカフェなどもつくって、たくさんの方が集う場所になることで、町内に活気もでき、賑わいもそして地域の交流も図れると思う。  
移動手段として町バスの利用を図り、子どもから大人まで通える場所になる。

小屋瀬中学校  
エコで、世代を  
越えた交流が  
できる町

葛巻町は自然豊かな町だが、ごみが落ちていたり古い空き家があったりするので、町の環境をきれいにする事で、葛巻の魅力が増し、町民の交流にも繋がると思う。  
1、ごみゼロの町にする  
全町民が参加するごみ拾いデーを設け、町内産の木のスプーンを使うなど、プラスチックごみを減らす工夫をする。



2、空き家を再利用する  
町民対象に伝統文化講習会を開き、郷土料理やわらじ作り、木工製作などを学んだり昔話を聞く。  
3つの地域に分かれ、地域の特色を生かした体験活動を催す。ワインを飲む会を開催して、葛巻の特産物の宣伝をする。



持ち主と町で協議し、空き家のリフォームをする。太陽光発電を設置し、電気代を無料にすることで、町への移住を促す。環境が良くなることで来町者が増加し町の魅力が増す。

中学生ふるさと懇談会で議長を務めてくださった生徒の皆さん



小・中児童生徒との  
ふるさと懇談会を終えて〜議長の感想〜

どの発表も町民が生き生き暮らし葛巻町を活性化させようという熱い思いを感じました。生き生きと暮らしていく中で町民がスポーツを通じ年代の区分なく交流する。環境整備を町民みんなで行うことで快適に暮らし、それが葛巻の魅力に繋がる。空き家の有効活用も検討する。など、みなさんの葛巻への「愛」が発表に盛り込まれ、嬉しいものばかりでした。  
町ではギガスクールを進める中で、一人一台のタブレットを導入していますが、

今回の発表ではそのICTを活用し発表に使っていただきました。  
議会への質問は、議員が町に質問する内容と同じものも含まれていましたが、これらの質問や提案は、これからの質問や提案は、これからのまちづくり対策に生かせるものばかりでしたので、今後の議会活動でおいに参考にさせていただきます。  
すばらしい発表・態度・声量など、今後ますますスキルアップして立派な社会人になってください。

